



就任のあいさつ

「南九州の拠点都市」リーディングシティの確立と「笑顔あふれるまち」スマイルシティ都城の実現に向けて

第5代都城市長

池田 直 永

このたびの任期満了に伴う市長選挙におきまして、市民の皆様からさらに大きなご負託をいただき、引き続き3期目の市政運営の重責を担うこととなりました。

これからの4年間、自治体経営の考え方の下、新型コロナウイルス感染症防止対策と高病原性鳥インフルエンザまん延防止対策に万全を期した上で、本市が持つ「3つの宝」をより一層輝かす取り組みを引き続き進めていくとともに、重要施策やデジタル化の推進、市民サービスのさらなる向上、対外的PRのさらなる推進などの諸施策に、これまで以上にスピード感を持って取り組んでまいります。

3つの宝をより一層輝かす！

・農林畜産業の振興

6次産業化商品の品質向上や販路拡大により所得の向上を図るとともに、スマート農業の推進や担い手確保、生産基盤の整備などにより「儲かる農業」を実現します。

・地の利の拡大

都城志布志道路の全線開通や基幹道路の整備により「地の利」を拡大。また、都城インター工業団地（桜木地区）の整備などにより、企業立地をさらに推進します。

・人間力あふれる子どもたちの育成

ALITの増員や小学校習熟度別指導、小中一貫教育指導などにより学力向上を実現。また、図書館サポーターの増員や地域教育、郷土教育の

推進による人間力の育成とともに、小・中学校のICT化やトイレの洋式化などによる教育環境の向上を図ります。

重要施策の推進！

・子ども・子育て支援

保育士応援プロジェクトの推進や放課後児童クラブ、ファミリー・サポート・センターの充実などにより、仕事と子育ての両立を支援します。

・市民の健康増進

こけないからだづくり講座の推進や、糖尿病重症化予防などにより市民の健康増進を図ります。

・スポーツ・文化活動の推進

県との連携により新宮崎県陸上競技場の着実な整備を推進。また、スポーツ施設の整備・改修やスポーツ・文化合宿の積極的な誘致などにより、スポーツ・文化活動を推進します。

・中心市街地の活性化

まちなかイルミネーションの開催や新規出店などにより、「Mallmall」の魅力をさらに拡大するとともに、市外からの移住・定住促進のための「まちなか居住」を推進します。

・地域の活性化

移住・定住拡大プランなどの人口減少対策や地域活性化事業の継続実

施などにより地域の活性化に取り組みます。

デジタル化の推進！

デジタル技術を積極的に導入することで、市民サービスの向上と行政事務の効率化を図ります。

市民サービスのさらなる向上！

窓口レイアウトの改善やおくやみ窓口の設置、「おもてなしガイド」の配置、都城フィロソフィに沿った人材育成などにより、市民サービスのさらなる向上を図ります。

対外的PRのさらなる推進！

ふるさと納税の取り組みを一層強化することで、「肉と焼酎のふるさと・都城」のPRをさらに推進。また、道の駅「都城」や関之尾公園のリニューアルに取り組みます。

「笑顔あふれるまちなかスマイルシティ都城の実現」のため、本気で挑戦してまいります。市民の皆様には、引き続きのご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

—市長プロフィール—

昭和46年4月7日生（49歳）
都城市菖蒲原町出身

【学歴】

東小学校・妻ヶ丘中学校・都城泉ヶ丘高等学校卒業
平成6年3月 九州大学経済学部経済学科卒業
11年3月 東京大学大学院経済学研究科
修士課程修了

【経歴】

平成6年4月 大蔵省入省
11年7月 大蔵省主税局調査課内国調査係長
14年7月 金融庁監督局銀行第1課課長補佐
17年4月 外務省在オーストラリア
日本国大使館1等書記官
19年4月 都城市副市長（総括担当）
22年7月 財務省主計局主計官補佐
（農林水産係主査）
24年11月 第3代都城市長就任
28年11月 第4代都城市長就任
令和2年11月 第5代都城市長就任

【趣味】

テニス、ゴルフ、書道

【座右の銘】

努力に勝る天才なし、実るほど頭を垂れる稲穂かな